



放課後等デイサービス自己評価表（2020年度）

ILIS CLUB 松原

（環境・体制整備）

①お子様の活動スペースとして事業所の広さは十分ですか？

はい。
フロアの広さは保護者様の満足度も高く、個室が3つあり、個別療育・講座にも活用している。

②職員の数や専門性は適切ですか？

はい。
適切なスタッフ配置をしている。

③事業所内は、スロープや手すりの設置など、バリアフリー化の配慮がされていますか？

はい。
スロープや手すりを配置し、段差も少なく、エレベーターを完備している。

（業務改善）

④業務の改善のために目標を決め、その目標が達成できているか、事業所の職員の多くで振り返りをしていますか？（PDCAサイクル）

はい。
月に1度事務所会議を開催し、全スタッフで意見を出し合い
目標に沿って支援が出来ていたか、お子様の様子など、先月の振り返りを行っている。
また、朝礼・終礼時に情報共有を行い、終礼で改善点や目標が達成できているかの確認を行っている。

⑤保護者様向け評価表を活用し、保護者様の意向を把握し、業務の改善につなげていますか？

はい。
日々、保護者様からのご意見やご要望にお応えすることが出来るよう心掛けている。

⑥この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開していますか？

はい。
1年度に1度、自己評価表の結果をホームページで公開している。

⑦第三者による外部評価を行い、その結果を業務の改善につなげていますか？

いいえ。
現在は行えていない。

⑧職員の資質向上のために、研修の機会を確保していますか？

はい。
参加できる研修は可能な限り参加し、スタッフの知識を向上させ、専門性を高めるよう努めている。

（適切な支援の提供）

⑨アセスメントを適切に行い、お子様と保護者様の希望や課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成していますか？

はい。
利用契約時や定期的にアセスメントシートを用いて面談を行い、保護者様の希望や課題を反映した上で、個別支援計画を作成している。

⑩ お子様の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール※1を使用していますか？

はい。
利用契約時等に標準化されたアセスメントツールを使用している。

⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っていますか？

はい。
事務所会議の際に、全スタッフで来月・再来月の活動プログラムの意見を出し合い、プログラムを決定し、より良い支援の提供を目指している。

⑫ 活動プログラムを固定化しないよう工夫していますか？

はい。
固定化しないように、スタッフ同士で話し合い、その時期にあったプログラムや新しい取り組みにも積極的に取り組んでいる。

⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援していますか？

はい。
事業所会議の際に、ある程度課題を決め月間スケジュールを作成している。
平日は月間スケジュールを元に決めたレクリエーションを毎日行っている。
休日や長期休暇の際は、レクリエーションとは別に外出やクッキングを計画し、1日スケジュールを決定し、全スタッフに周知している。

⑭ お子様の状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて個別支援計画を作成していますか？

はい。
児童一人ひとりに合わせたプログラムの個別療育の内容、集団活動の場での課題や目標を軸に個別支援計画を作成している。

⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認していますか？

はい。
前月に決めた月間スケジュールを元に、毎日の朝礼の際に当日のプログラムや支援内容の打ち合わせをし、役割分担を行い、1日の流れを出勤スタッフ全員で共有している。

⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有していますか？

はい。
終礼を必ず行い、その日の振り返りを行い気付いた内容を記録し、全スタッフで情報共有をしている。

⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげていますか？

はい。
業務日報と個別療育記録表に当日利用した一人ひとりの記録を取り、全スタッフがその内容を確認し、朝礼・終礼・事業所会議等に支援の検証・改善に努めている。

⑱ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しが必要かどうかを判断していますか？

はい。
3ヶ月に1度モニタリングを作成する際に、見直しが必要か判断している。
また、個別支援計画作成前に保護者様との面談を行い、個別支援計画の内容に反映している。

⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っていますか？

はい。
ガイドラインの総則の基本活動を軸に個別支援計画を作成し、支援を行っている。

（関係機関や保護者様との連携）

⑳障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議に、そのお子様の状況に精通した最もふさわしい職員が参加していますか？

はい。

必ず、児童発達支援管理責任者かマネージャーが参加するように徹底している。

㉑学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応・トラブル発生時の連絡）を適切に行っていますか？

はい。

年間計画・行事予定等は支援学校の場合、月に1度予定表が送られてきている。地域の小学校は、保護者様に行事予定のコピーをもらい、下校時間に間違えないようにしている。送迎時、予定時間が遅れている際や下校時間が合っているかの確認はその都度行っている。

㉒医療ケアが必要なお子様を受け入れる場合は、お子様の主治医等と連絡体制を整えていますか？

いいえ。

医療ケア必要なお子様が利用になった際は、連絡先を教えてください、連絡体制を整える。

㉓就学前に利用していた保育所・幼稚園・認定こども園・児童発達支援事業所等と、情報の共有をしていますか？

いいえ。

今後、必要に応じて積極的に情報共有や相互理解に努める。

㉔学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供していますか？

いいえ。

現在は、情報共有が出来ていないが、障害者福祉サービス事業所で開催しているイベントに参加したり、見学に行っている。今後も作業所や卒業後の進路先と連携を積極的にとっていく。

㉕児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けていますか？

はい。

研修があれば、可能な限り参加し、積極的に交流をしている。これからも積極的に交流し、助言や研修を受ける。

㉖放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会がありますか？

いいえ。

児童クラブや児童館のイベント時など、出来る限り児童館へ行き、積極的に交流を深める。

㉗（地域自立支援）協議会等※²へ積極的に参加していますか？

はい。

その都度参加し、他事業所との交流を積極的に行っている。

㉘日頃からお子様の発達状況や課題を、事業所と保護者様とで伝え合い、共通の理解ができていますか？

どちらともいえない。

常に連携を取るように努めている。日々のやり取りの中で信頼関係を築き、気軽に話していただけるような環境作りに努める。

㉙保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して、育児に関する助言等の支援を行っていますか？

どちらともいえない。

よく相談を受ける保護者様にはその都度支援をおこなっているが、全保護者様に助言等を行うことが出来ていないのが現状である。利用回数が少ないお子様の場合は、コミュニケーションを取る機会も少ないので、利用の際は今まで以上に関係性を深められるよう、積極的に関わっていく。

（保護者様への説明責任等）

⑩運営規程・支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明を行っていますか？

はい。
契約の際に、詳しく説明している。

⑪保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っていますか？

はい。
保護者様からの子育ての悩み相談を受けると、スタッフ同士で話し合い、適切な助言と支援を行っている。

⑫親の会の開催等により、保護者様同士の連携の支援をしていますか？

はい。
今年度は、コロナの影響で開催できなかったが、毎年2回以上、親の会を開催し保護者様同士の情報共有できる場所を提供している。

⑬お子様や保護者様からの相談や申し入れがある場合の対応の体制が整っていることを、お子様や保護者様へ説明していますか？また、相談や申し入れがあった場合、迅速かつ適切な対応をしていますか？

どちらともいえない。
保護者様から相談があった場合は、迅速に対応し、スタッフ同士で相談内容を話し合い、密な対応を心掛けている。全保護者に体制が整っていることを理解してもらえよう、再度説明していく。

⑭定期的におたよりやホームページ等で、活動内容・行事予定・連絡体制等の情報を発信していますか？

はい。
毎月1度のおたよりでは活動内容や来月の行事予定を伝えている。ブログでは写真を入れて、分かりやすく活動内容を伝えるようにしている。

⑮個人情報の取り扱いは適切ですか？

はい。
個人情報がかかれている書類は必ず、鍵付きの書庫に保管している。処分する場合は必ずシュレッダーで処分をしている。

⑯障がいのあるお子様や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしていますか？

はい。
意思疎通できるように、お子様・保護者様に合った伝達方法を工夫して伝えるようにしている。

⑰事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営をしていますか？

どちらともいえない。
掲示板の確認は常に行い、地域の連合会にも参加している。営業に行くことで相談支援事業所や保育園・幼稚園と関わることは増えてきている。

（非常時等の対応）

⑱緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者様に周知していますか？

いいえ。

スタッフには周知できているが、保護者様に周知できる機会が無いため、おたよりや親の会で積極的に発信していきたい。

③⑨非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っていますか？

はい。

月に1度、様々な状況に合わせて避難訓練を行い、ありとあらゆる避難の状況を試し、避難訓練を行っている。避難訓練を行っていることを知らない保護者様の方もいるため積極的にアピールする。

④⑩虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしていますか？

はい。

虐待防止の研修はスタッフ全員が必ず参加するようにし、研修に参加したスタッフは全スタッフに内容を再度周知している。

④⑪どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者様に事前に十分に説明し、了解を得た上で、個別支援計画に記載していますか？

いいえ。

身体拘束を必要とするお子様が現在はいない為、個別支援計画には記載していないが、必要になった場合は、必ず説明と個別支援計画への記載を行う。

④⑫食物アレルギーのあるお子様について、医師の指示書に基づく対応をしていますか？

はい。

全お子様にアレルギーに関するアンケートを取り、把握している。保護者様に医師の指示書の確認を取り、それに基づいて対応を行っている。

④⑬ヒヤリハット事例集を作成して、職員間で共有していますか？

はい。

ILIS CLUB全事業所のヒヤリハットや事故報告書を共有し、全スタッフで確認している。同じことが2度と起こらないように、事業所内でも検討している。

(注釈)

※1 「標準化されたアセスメントツール」

知的能力だけでなく、社会適応能力(対人関係や社会性等)の観点から、お子様それぞれの支援ニーズを客観的に把握するための基本的なツールのこと

※2 「(地域自立支援)協議会等」

障がい児相談支援事業所・学校・医療機関・専門機関・保育所

- ・児童発達支援事業所・他の放課後等デイサービス事業所・放課後児童クラブ
- ・自治体など